

たけあクリニック通信 10月号

糖尿病専門医 田中 紗代子 先生

未だ日中は暑い日が続いておりますが、朝や夜は涼しくなり、街路樹も色づき始め、徐々に秋めいておりますが、皆様いかにお過ごしでしょうか？

この時期、服や靴のチョイスが本当に難しいですね


徐々にクローゼットの中は、ネイビー、ボルドー、ダークグリーン等の寒色系にシフトしています。

あとわたしはブドウが大好きなのですが、毎日ピオーネとマスカットを食べられて幸せです🍇

コロナワクチンのブースター接種について

さて国内では、新型コロナウイルス感染症発症数の劇的な減少を受けて、9月30日に第4回目の緊急事態宣言が漸く解除されましたが、年末には第6波到来の可能性も懸念されています。

相次ぐ変異株への対策やワクチン接種後の中和抗体（体内に入ってきたウイルスを排除し感染を防ぐという重要な働きのあるたんぱく質）減少を受けて、海外ではすでに新型コロナワクチン追加接種へと動いており、日本でも早ければ年内以降随時、新型コロナウイルスワクチンの追加接種を進めていく方針を厚生労働省が9月に発表したのは記憶に新しいですね。



世界で早期に国民への2回のワクチン接種を開始したイスラエルでは、今回も3回目接種（ブースター接種）を世界で初めて導入しており、先月には、The New England Journal より、「Protection of BNT162b2 Vaccine Booster against Covid-19 in Israel」が発表されました。

5か月以上前にファイザーのワクチン2回接種終了した60歳以上の1137804名の国民を対象に、

- ① 12日以上前に追加接種を行った群、追加接種を行わなかった群で、COVID-19感染の発生率や重症化の発生率、
- ② 追加接種群内での、接種後4～6日でのCOVID-19感染の後12日以上でのCOVID-19感染の程度を、2021年7月～8月間で検証しています。

結果、

ブースター接種後12日以降に確認された感染の発生率は、非ブースター群よりも有意に低下、
ブースター接種後12日以降に確認された感染の発生率は、ブースター接種後4～6日の発生率と比較し有意に低下したという結果でした。

ただこれらの結果に関して、ディスカッションでは、手放しでブースター接種→感染および重症化抑制が立証できたわけではなく、いくつかの考えうるバイアス（誤差）についての記載があります🙄。

ブースター接種をした群としていない群では、ウイルスに対する警戒心、安心感に差が生まれることから日常の行動の変化が起きること、

またワクチン接種群では、接種日以降数日PCR検査施行の頻度が減少することが予想される、また中和抗体の測定をしていないため、どこまでがブースター接種の効果か以前投与のワクチン接種の効果か線引きが難しい部分もあると考えられます。

確かに未だ短期間なものであり、長期的な効果や安全性、有害性に関しては不明な点が多いのは事実です。

同じく9月にLancetより「Considerations in boosting COVID-19 vaccine immune responses」が発表され、ここでは新型コロナワクチンの追加接種を積極的に推し進める世論の動きに対して、以下のように懐疑的な意見を述べています。

中和抗体の減少＝必ずしもワクチンの有効性の低下を示すものではない。
というのもヒトの体内の免疫機能には、効果が短い抗原抗体反応だけでなく、長期的に効果を持続する記憶免疫という機能が存在するので、経時的に抗体数が減少したとしても重症化を予防する働きは残存している。
よって健康な人へのブースター接種の必要性は低いのではないか。
ブースター接種を勧める前に、可能な限り多くの人へワクチンの2回接種を推奨すべきであり、ブースター接種に関しては、そのリスクと利益を天秤にかけた上で慎重に議論すべき🌙。

因みにLancetでは「Risk factors and disease profile of post-vaccination SARS-CoV-2 Infection in UK users of the COVID Symptom Study app: a prospective, community-based, nested, case-control study」にて、1回目、或いは2回目のワクチン接種後にSARS-CoV-2陽性と診断された群を対象に、ブレイクスルー感染のリスク因子や症状の重症度を検証しております👩🏻。
結果、リスク因子としては、高齢、フレイル（加齢によって心身が老い衰え、社会とのつながりが減少した状態）、貧困地域への在住が関連しており、症状の重症化、持続期間についてはワクチン接種群で有意に改善を認めたという結果でした。

米政府は当初、コロナワクチン（ファイザー）2回接種を終えた18歳以上全員に、追加接種を開始する方針でしたが、有効性データが不十分とのことから、米疾病予防管理センターの予防接種に関する諮問委員会（ACIP）より改めて追加接種の対象を、65歳以上の高齢者、持病等により重症化リスクが高い人に限定し推奨との結論を出しました。

日本国内でも、追加接種に対して、その安全性と有効性を十分に議論した上で、導入をしてほしい、また何よりもワクチンを打つ打たないは個人の自由であり、その自由が絶対的に守られる世の中であってほしいと思います🌙。

2021年10月 第123号 たけおクリニック 院長 竹尾 浩紀 東京都世田谷区太子堂 4-22-7 森住ビル 3F